2016 年度 保護者満足度調査
結果と質問等への回答

聖隷クリストファー大学
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校
後援会

2016年度保護者満足度調査　結果報告

[実施時期]

2016年12月下旬 ～ 2017年1月15日締切〔1月22日（日）まで締切延長〕

[実施方法]

当該調査の調査票のみを全保護者宛てに郵送。
アンケートの回答方法は返信用封筒による郵送、自宅学生によるアンケートの持参もしくは携帯電話やパソコン・スマートフォンからのインターネットでの回答。

[調査対象]

全学部学科1～4年次生および介護福祉専門学校1年次生の保護者　　計1,402名

[回収率（全体）]

全体	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	235	200	174	152	761
回収率	65.5%	57.5%	49.2%	44.6%	54.3%

[過去の回収数および回収率]

全体	1年次	2年次	3年次	4年次	学年不明	合計
2015年度	215（61.4%）	180（50.7%）	152（44.9%）	149（41.2%）	0	696（49.8%）
2014年度	157（43.9%）	103（30.3%）	113（32.4%）	82（23.2%）	2	457（32.6%）
2013年度	135（39.5%）	112（32.3%）	107（31.5%）	83（23.8%）	5	442（32.1%）

［回収率（学部(学科)別）］

看護	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	98	87	61	57	303
回収率	62.8%	54.4%	39.9%	37.0%	48.6%

社会福祉	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	20	20	19	17	76
回収率	55.6%	64.5%	47.5%	45.9%	52.8%

介護	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	4	6	8	5	23
回収率	100%	54.5%	47.1%	35.7%	50.0%

こども	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	21	24	32	20	97
回収率	60.0%	61.5%	69.6%	42.6%	58.1%

理学療法	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	38	18	25	15	96
回収率	84.4%	46.2%	59.5%	46.9%	60.8%

作業療法	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	22	23	19	24	88
回収率	64.7%	65.7%	51.4%	72.7%	63.3%

言語聴覚	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
回答数	18	22	10	14	64
回収率	66.7%	66.7%	52.6%	58.3%	62.1%

専門学校	1年次	2年次	合計
回答数	14	―	14
回収率	63.6%	―	63.6%

インターネットによる回答はうち149件

［結果の概要］

設問項目ごとに「大変満足している」「やや満足している」の合計を算出し、その値を満足度指数とした場合、「本学に対する総合評価」は93.2%と高い評価をいただきました。

しかし、項目別では必ずしも評価の高い項目ばかりではないため、満足度が高くない項目については今後の対応（改善策）について検討しています。

また、自由記述としてお寄せいただきましたご意見・ご要望に個々に回答できませんが、［質問・要望に対する回答］として14ページ以降に回答させていただいておりますのでご覧ください。

なお、回答率は54.3%、回収件数は761件といずれも調査を開始した2007年度以来最多の回答をいただくことができました。

お忙しいところご協力いただきまして有り難うございました。

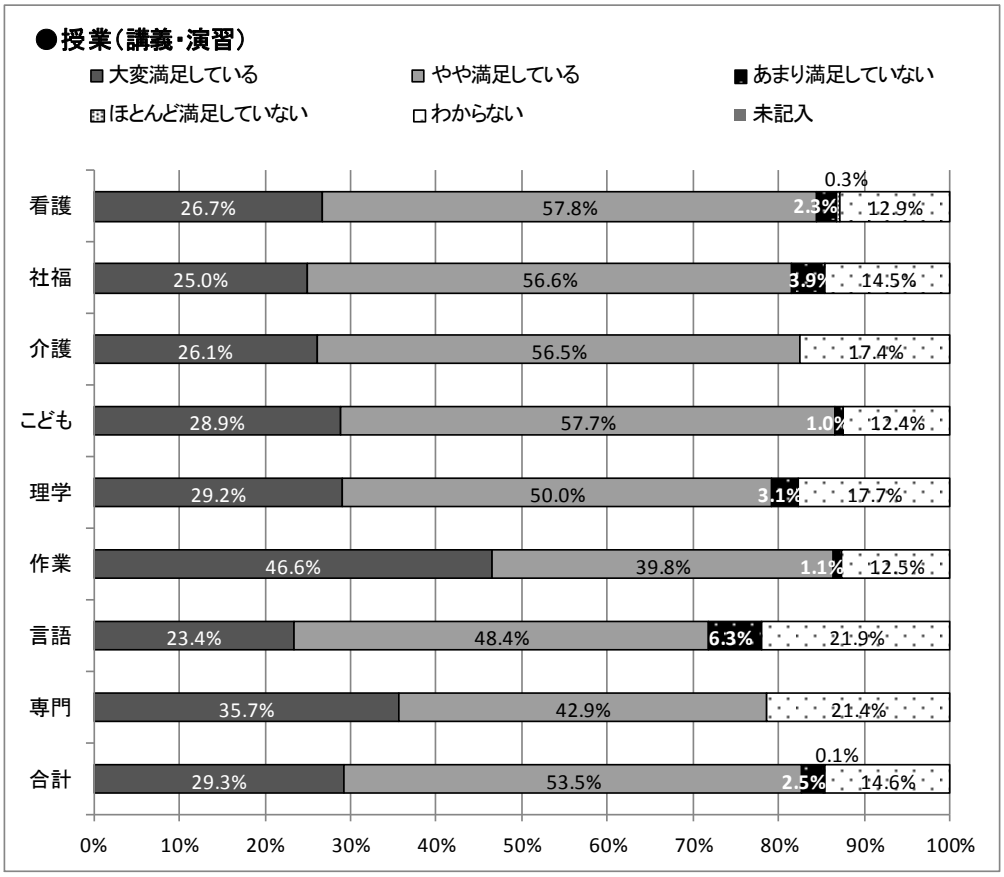
2017年度も引き続き実施をいたしますので、より良い大学づくりのため、今後も保護者の皆様の忌憚のないご意見を是非お寄せくださいますようご協力をお願いいたします。

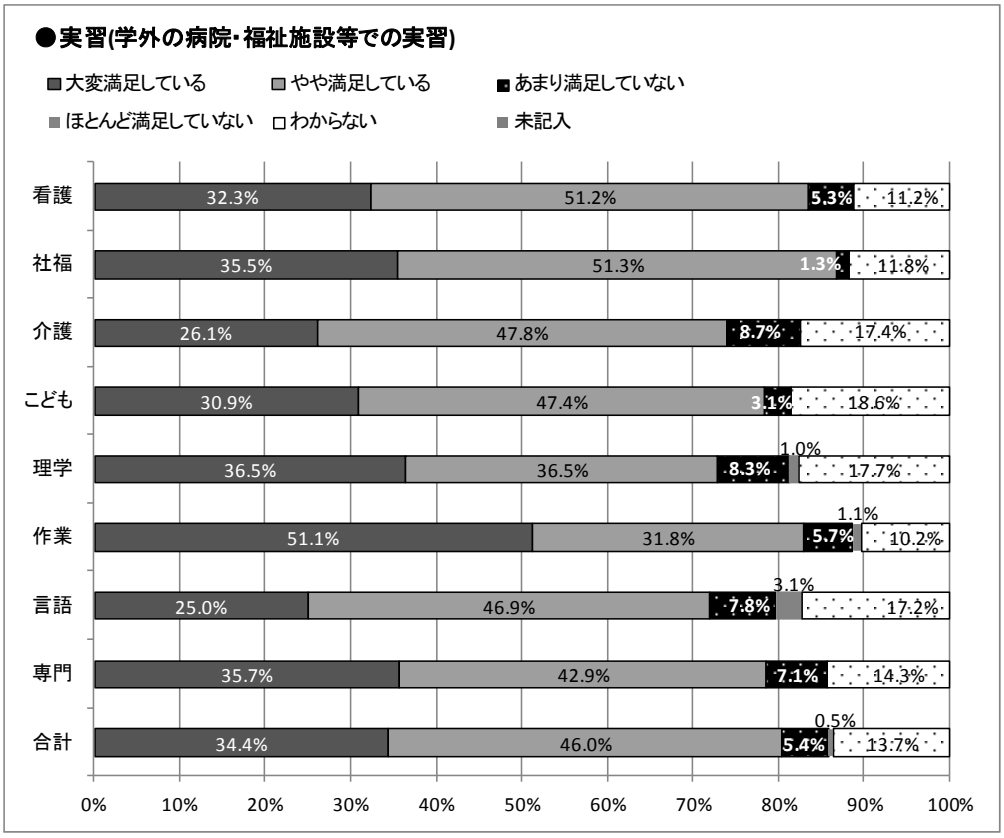
2012 年度～2016 年度「保護者満足度調査」各項目の推移

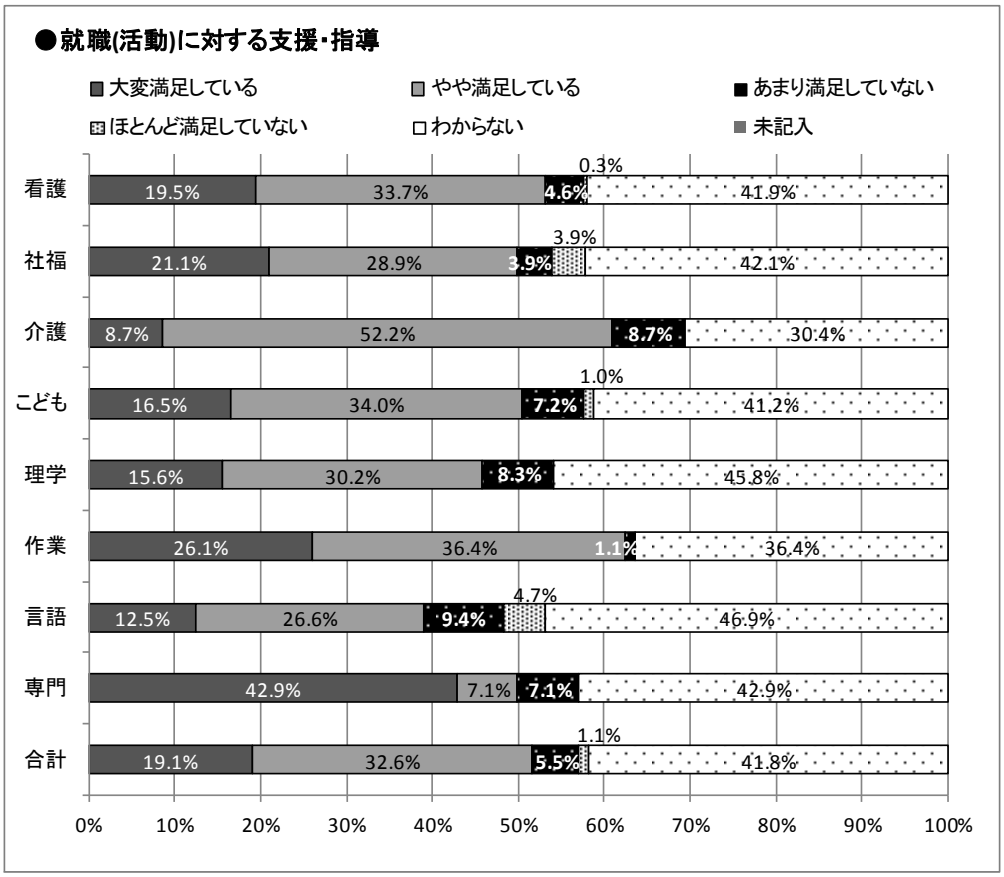
A=満足（大変満足している、やや満足している）
B=不満足（あまり満足していない、ほとんど満足していない）
C=不明（わからない、未記入）

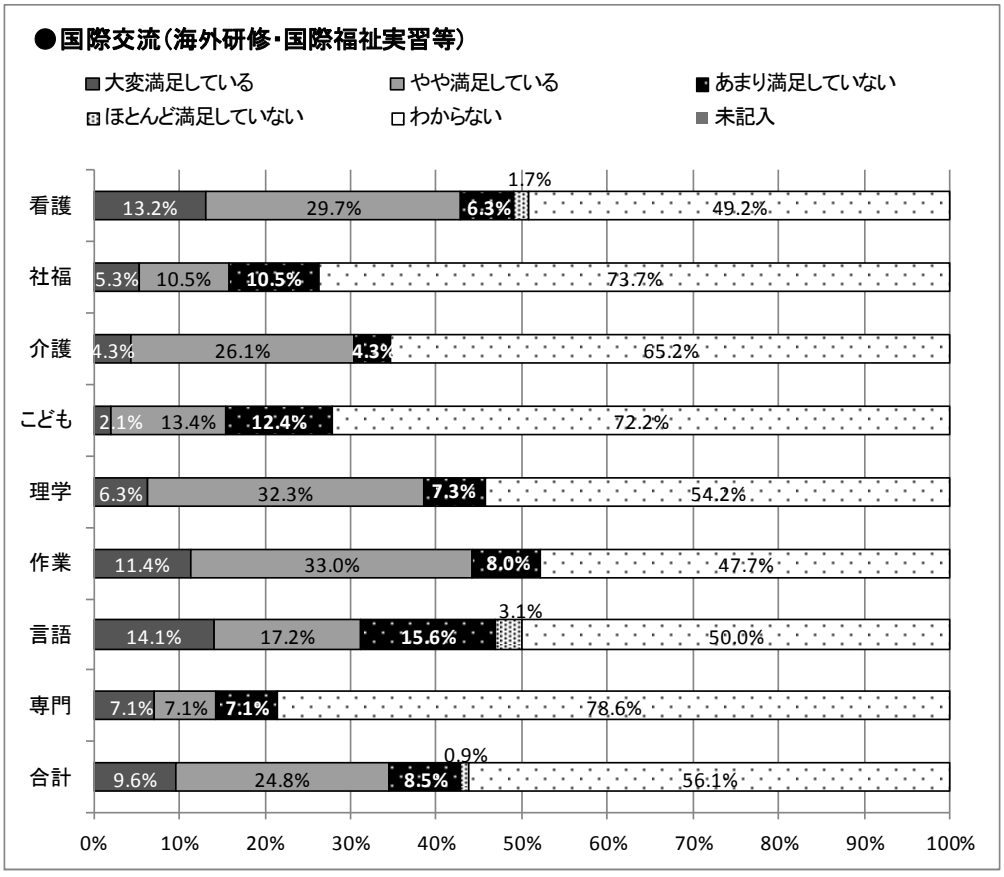
設問	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
総回答人数	424人	440人	457人	696人	761人
(1) 授業（講義・演習）					
A　満足	73.8%	77.7%	78.6%	80.3%	82.8%
B　不満足	7.8%	4.1%	5.9%	5.2%	2.6%
C　不明	18.4%	18.2%	15.5%	14.5%	14.6%
(2) 実習（学外の病院・福祉施設等での実習）					
A　満足	76.7%	79.5%	77.0%	78.4%	80.4%
B　不満足	6.1%	5.7%	5.5%	7.3%	5.9%
C　不明	17.2%	14.8%	17.5%	14.2%	13.7%
(3) 就職（活動）に対する支援・指導					
A　満足	47.2%	49.8%	48.4%	50.9%	51.6%
B　不満足	8.0%	9.3%	6.1%	5.9%	6.6%
C　不明	44.8%	40.7%	45.5%	43.2%	41.8%
(4) 国際交流活動（海外研修・海外実習等）に対する支援					
A　満足	29.5%	30.7%	32.2%	32.5%	34.4%
B　不満足	9.0%	8.0%	7.7%	8.8%	9.5%
C　不明	61.6%	61.4%	60.2%	58.8%	56.1%
(5) 心身の健康面に関する支援					
A　満足	61.3%	64.8%	64.8%	65.2%	68.9%
B　不満足	8.5%	10.2%	10.5%	7.8%	7.6%
C　不明	30.2%	25.0%	24.7%	27.0%	23.5%
(6) 学生・保護者からの相談への対応					
A　満足	59.7%	64.8%	64.1%	64.8%	66.4%
B　不満足	8.3%	7.7%	8.8%	7.5%	6.8%
C　不明	32.1%	27.5%	27.1%	27.7%	26.8%
(7) 奨学金・アパート・アルバイト紹介等学生生活に関する支援					
A　満足	55.9%	58.9%	60.0%	54.9%	52.6%
B　不満足	10.4%	10.0%	8.3%	10.2%	10.7%
C　不明	33.7%	31.1%	31.7%	34.9%	36.7%
(8) 事故防止・防犯への対応					
A　満足	56.4%	58.0%	61.1%	53.6%	61.5%
B　不満足	10.6%	13.9%	10.7%	10.6%	9.5%
C　不明	33.0%	28.2%	28.2%	34.3%	29.0%
(9) 教員の学生への接し方					
A　満足	69.8%	70.0%	72.4%	76.4%	75.3%
B　不満足	10.4%	9.8%	7.9%	6.2%	6.6%
C　不明	19.8%	20.0%	19.7%	17.4%	18.1%
(10) 事務職員の学生への接し方					
A　満足	56.4%	63.0%	62.8%	57.2%	61.4%
B　不満足	8.3%	8.2%	8.8%	11.5%	8.0%
C　不明	35.4%	28.9%	28.4%	31.3%	30.6%
(11) 本学の施設・設備					
A　満足	81.4%	82.0%	83.6%	82.8%	82.4%
B　不満足	12.7%	10.2%	9.4%	9.5%	9.7%
C　不明	5.9%	7.7%	7.0%	7.8%	7.9%
(12) 本学に対する総合評価（進学させてよかったかどうか）					
A　満足	90.3%	92.0%	91.9%	91.5%	93.2%
B　不満足	3.1%	4.1%	4.4%	3.3%	2.6%
C　不明	6.6%	3.9%	3.7%	5.2%	4.2%
(13) 保護者として知りたい情報は本学から十分提供されていますか					
A　満足	70.0%	78.0%	74.0%	74.3%	77.8%
B　不満足	17.9%	15.9%	17.9%	14.8%	13.5%
C　不明	12.0%	6.1%	8.1%	10.9%	8.7%

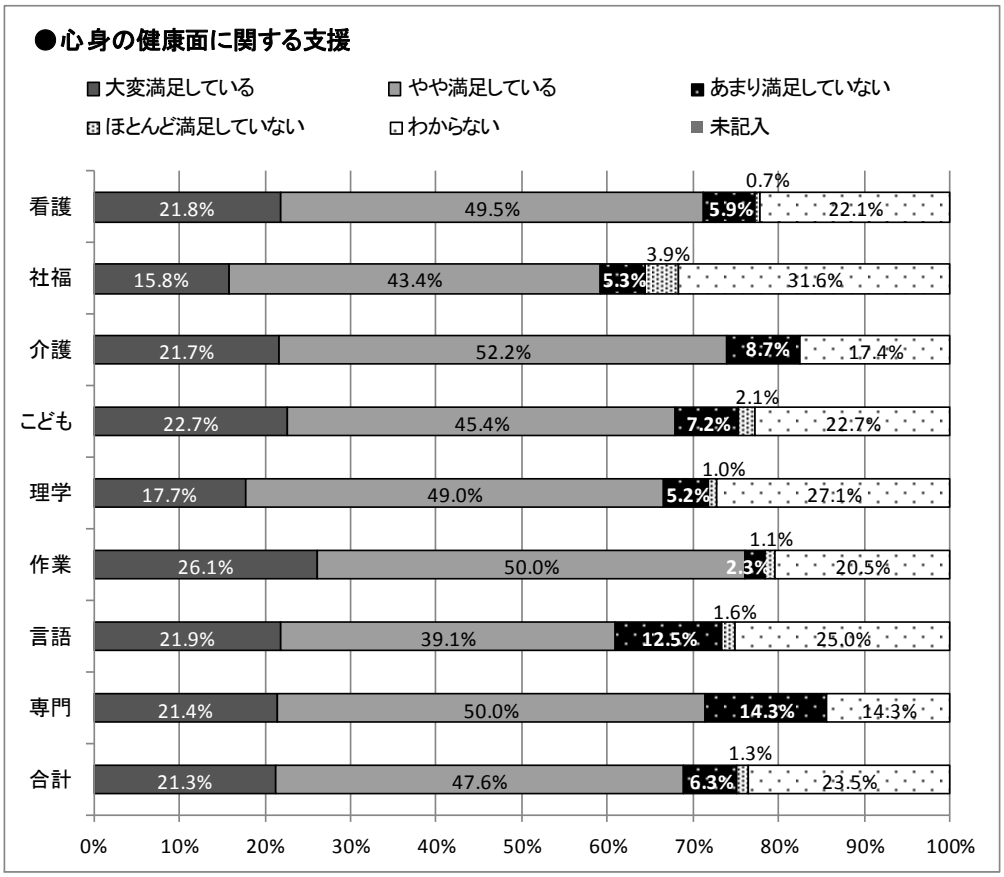
問．本学・本校の教育や学生生活等の支援について保護者として満足していますか。

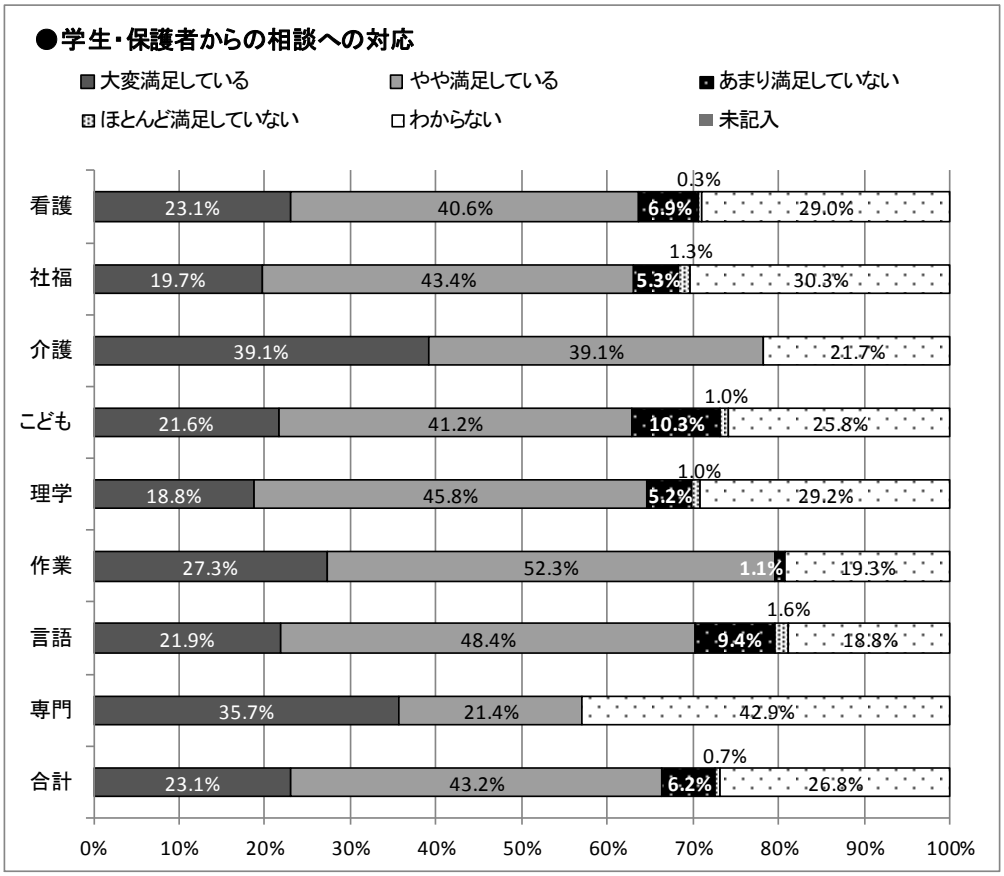


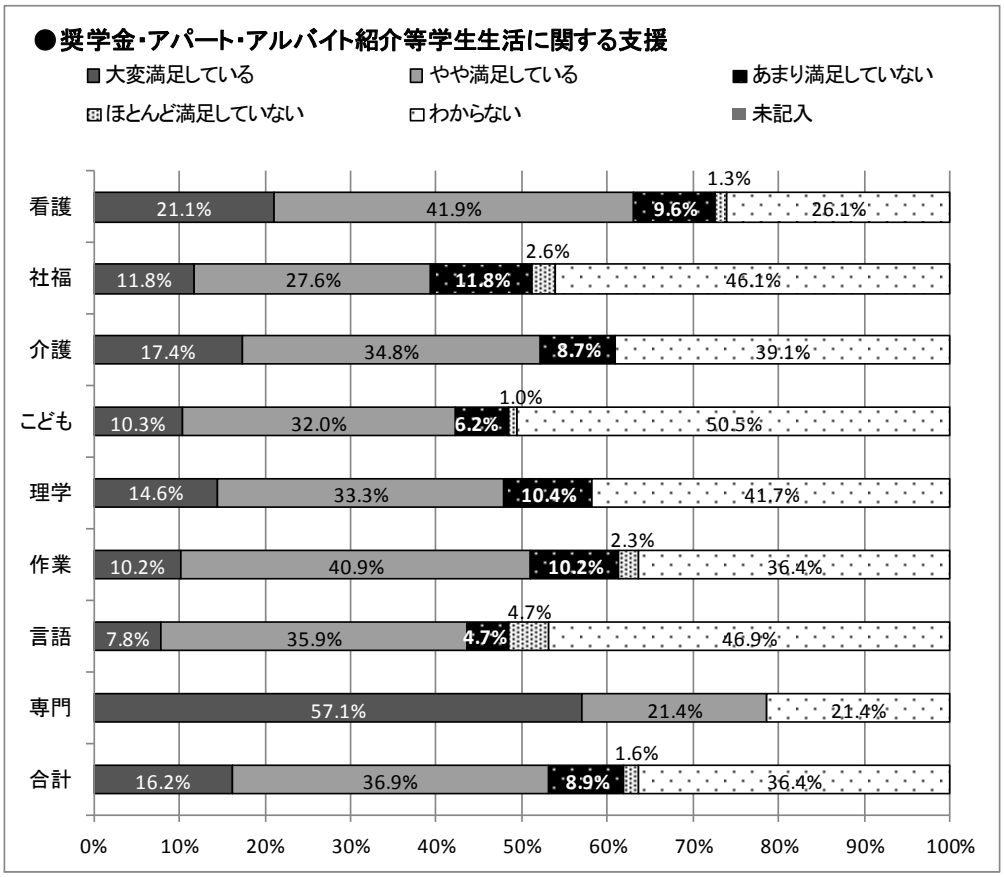


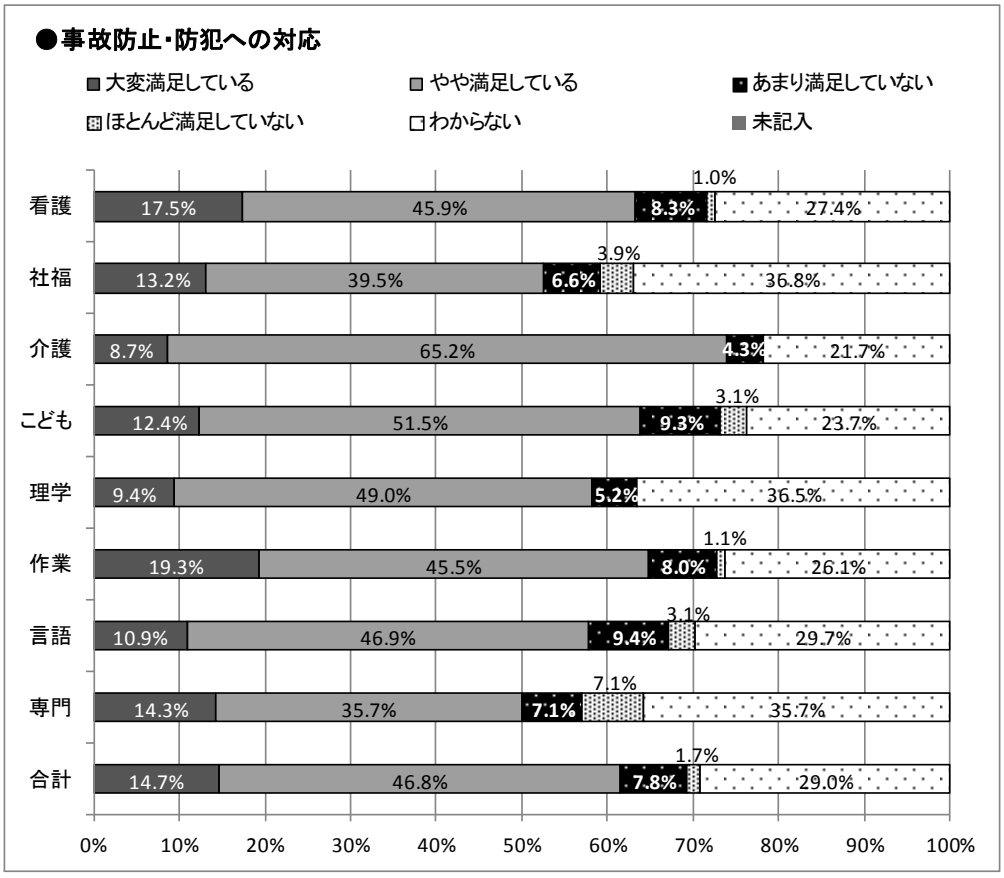

●就職(活動)に対する支援・指導
大変満足している
やや満足している
あまり満足していない
ほとんど満足していない
わからない
未記入
看護 19.5% 33.7% 4.6% 0.3% 41.9%
社福 21.1% 28.9% 3.9% 3.9% 42.1%
介護 8.7% 52.2% 8.7% 30.4%
こども 16.5% 34.0% 7.2% 1.0% 41.2%
理学 15.6% 30.2% 8.3% 45.8%
作業 26.1% 36.4% 1.1% 36.4%
言語 12.5% 26.6% 9.4% 4.7% 46.9%
専門 42.9% 7.1% 7.1% 42.9%
合計 19.1% 32.6% 5.5% 1.1% 41.8%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

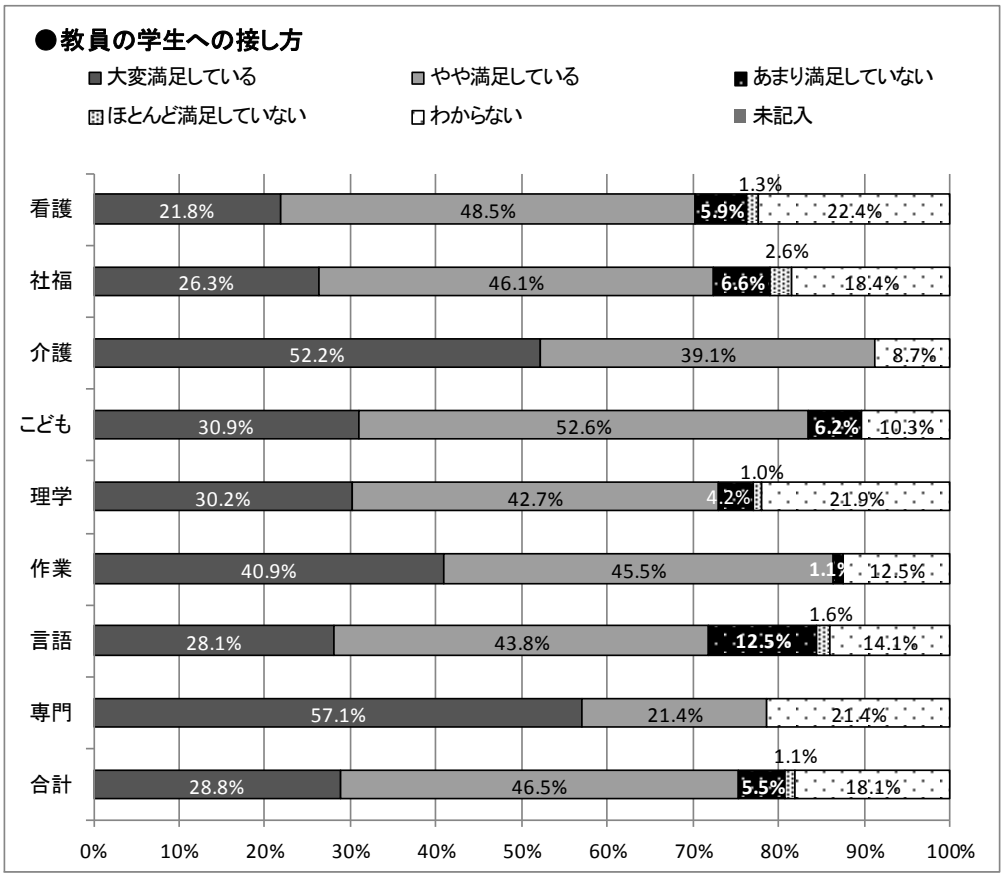

●国際交流（海外研修・国際福祉実習等）
大変満足している
やや満足している
あまり満足していない
ほとんど満足していない
わからない
未記入
看護 13.2% 29.7% 6.3% 1.7% 49.2%
社福 5.3% 10.5% 10.5% 73.7%
介護 4.3% 26.1% 4.3% 65.2%
こども 2.1% 13.4% 12.4% 72.2%
理学 6.3% 32.3% 7.3% 54.2%
作業 11.4% 33.0% 8.0% 47.7%
言語 14.1% 17.2% 15.6% 3.1% 50.0%
専門 7.1% 7.1% 7.1% 78.6%
合計 9.6% 24.8% 8.5% 0.9% 56.1%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

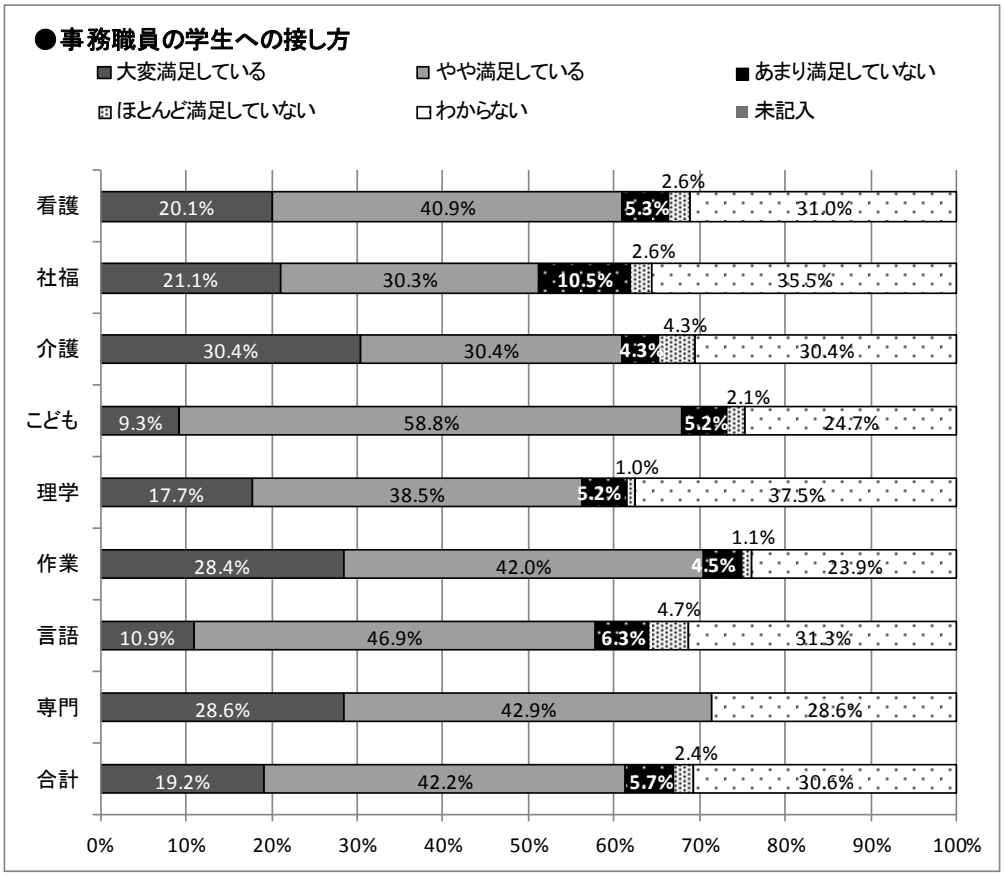

●心身の健康面に関する支援
大変満足している
やや満足している
あまり満足していない
ほとんど満足していない
わからない
未記入
看護 21.8% 49.5% 5.9% 0.7% 22.1%
社福 15.8% 43.4% 5.3% 3.9% 31.6%
介護 21.7% 52.2% 8.7% 17.4%
こども 22.7% 45.4% 7.2% 2.1% 22.7%
理学 17.7% 49.0% 5.2% 1.0% 27.1%
作業 26.1% 50.0% 2.3% 1.1% 20.5%
言語 21.9% 39.1% 12.5% 1.6% 25.0%
専門 21.4% 50.0% 14.3% 14.3%
合計 21.3% 47.6% 6.3% 1.3% 23.5%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

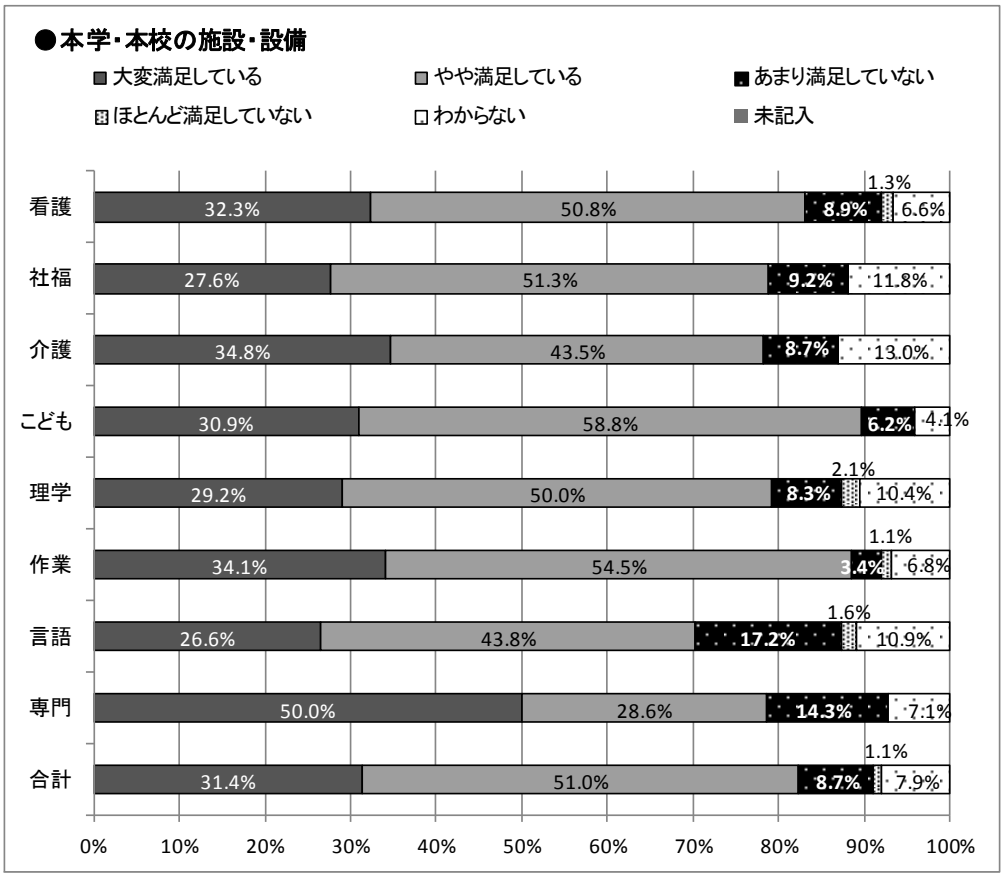

●学生・保護者からの相談への対応
大変満足している
やや満足している
あまり満足していない
ほとんど満足していない
わからない
未記入
看護 23.1% 40.6% 6.9% 0.3% 29.0%
社福 19.7% 43.4% 5.3% 1.3% 30.3%
介護 39.1% 39.1% 21.7%
こども 21.6% 41.2% 10.3% 1.0% 25.8%
理学 18.8% 45.8% 5.2% 1.0% 29.2%
作業 27.3% 52.3% 1.1% 19.3%
言語 21.9% 48.4% 9.4% 1.6% 18.8%
専門 35.7% 21.4% 42.9%
合計 23.1% 43.2% 6.2% 0.7% 26.8%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

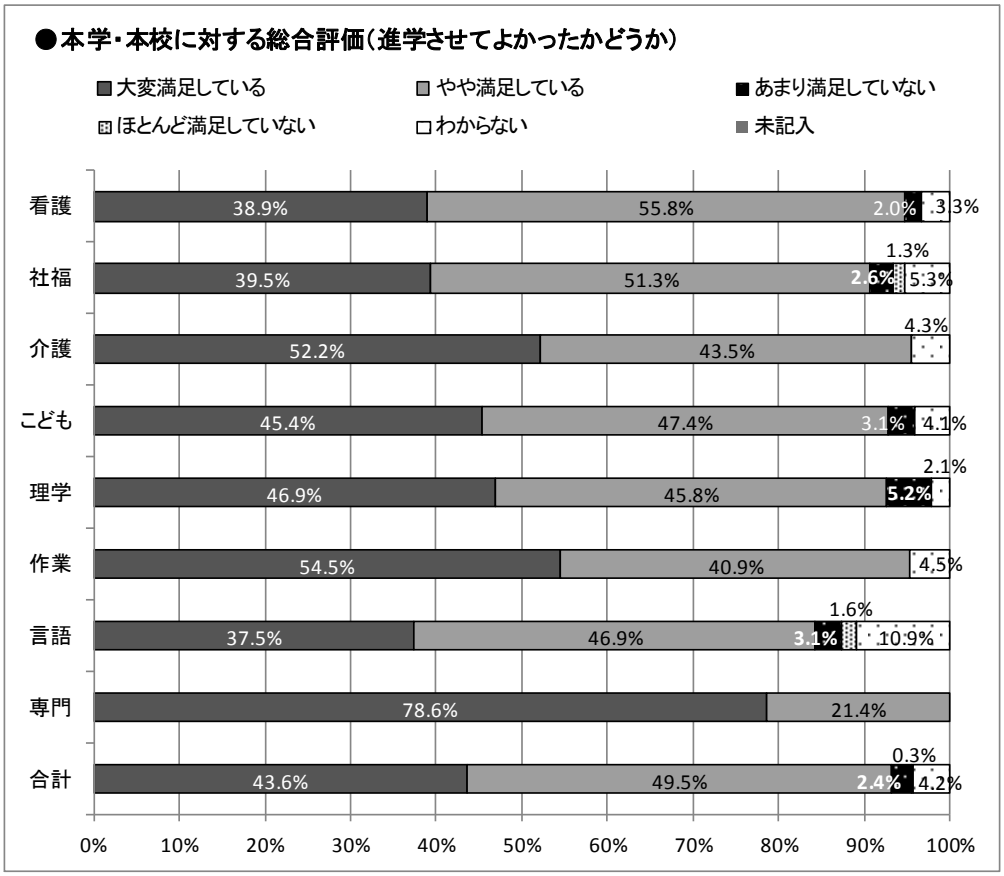

●奨学金・アパート・アルバイト紹介等学生生活に関する支援
大変満足している
やや満足している
あまり満足していない
ほとんど満足していない
わからない
未記入
看護 21.1% 41.9% 9.6% 1.3% 26.1%
社福 11.8% 27.6% 11.8% 2.6% 46.1%
介護 17.4% 34.8% 8.7% 39.1%
こども 10.3% 32.0% 6.2% 1.0% 50.5%
理学 14.6% 33.3% 10.4% 41.7%
作業 10.2% 40.9% 10.2% 2.3% 36.4%
言語 7.8% 35.9% 4.7% 4.7% 46.9%
専門 57.1% 21.4% 21.4%
合計 16.2% 36.9% 8.9% 1.6% 36.4%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

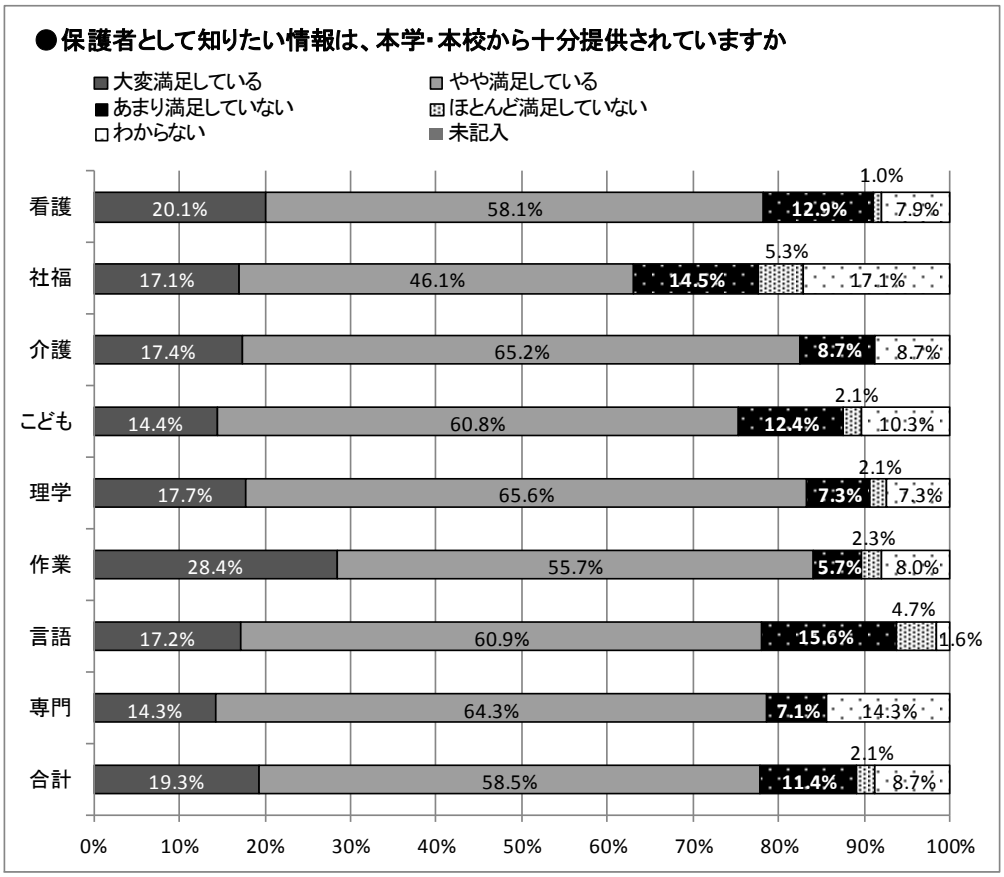

●事故防止・防犯への対応
大変満足している
やや満足している
あまり満足していない
ほとんど満足していない
わからない
未記入
看護 17.5% 45.9% 8.3% 1.0% 27.4%
社福 13.2% 39.5% 6.6% 3.9% 36.8%
介護 8.7% 65.2% 4.3% 21.7%
こども 12.4% 51.5% 9.3% 3.1% 23.7%
理学 9.4% 49.0% 5.2% 36.5%
作業 19.3% 45.5% 8.0% 1.1% 26.1%
言語 10.9% 46.9% 9.4% 3.1% 29.7%
専門 14.3% 35.7% 7.1% 7.1% 35.7%
合計 14.7% 46.8% 7.8% 1.7% 29.0%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


●教員の学生への接し方
大変満足している
やや満足している
あまり満足していない
ほとんど満足していない
わからない
未記入
看護 21.8% 48.5% 5.9% 1.3% 22.4%
社福 26.3% 46.1% 6.6% 2.6% 18.4%
介護 52.2% 39.1% 8.7%
こども 30.9% 52.6% 6.2% 10.3%
理学 30.2% 42.7% 4.2% 1.0% 21.9%
作業 40.9% 45.5% 1.1% 12.5%
言語 28.1% 43.8% 12.5% 1.6% 14.1%
専門 57.1% 21.4% 21.4%
合計 28.8% 46.5% 5.5% 1.1% 18.1%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

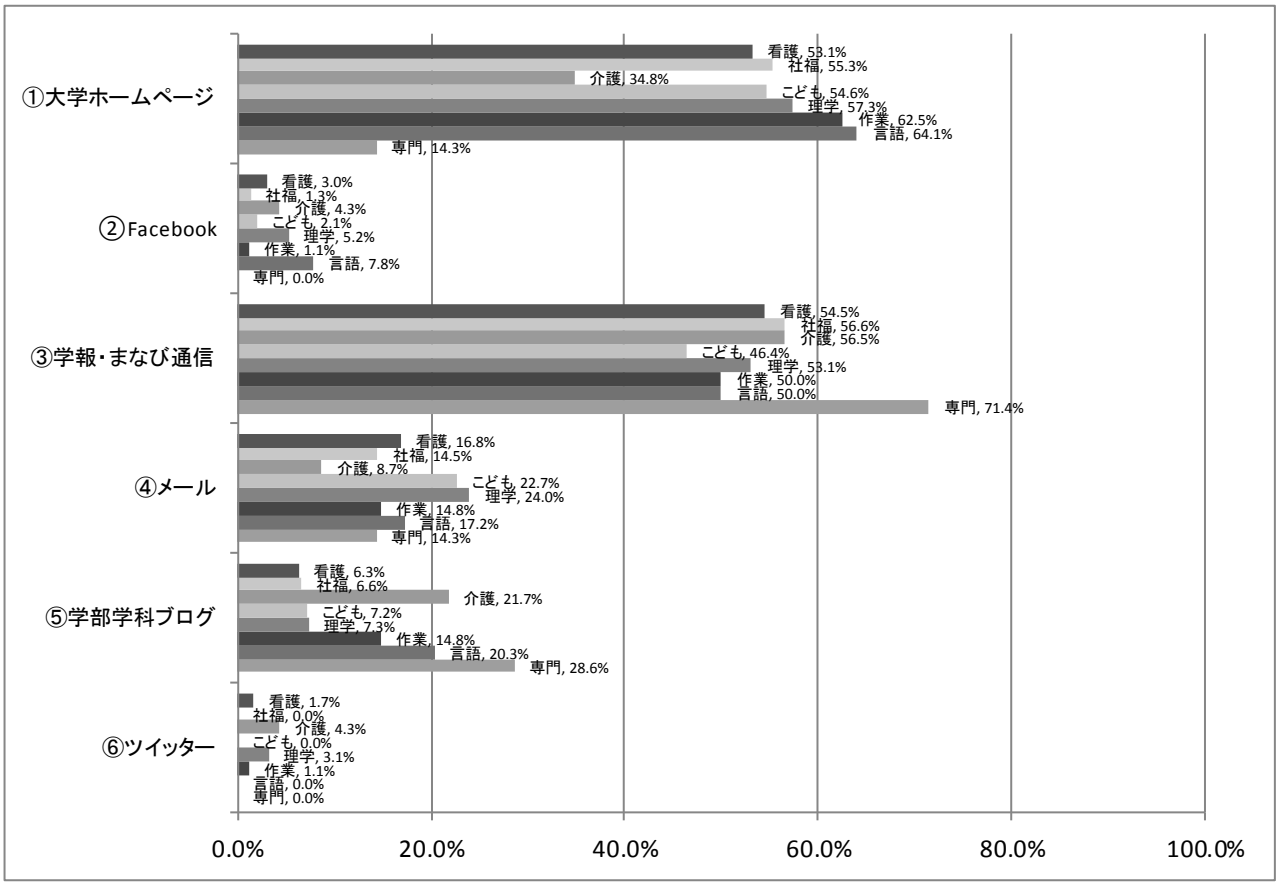

●事務職員の学生への接し方
大変満足している
やや満足している
あまり満足していない
ほとんど満足していない
わからない
未記入
看護 20.1% 40.9% 5.3% 2.6% 31.0%
社福 21.1% 30.3% 10.5% 2.6% 35.5%
介護 30.4% 30.4% 4.3% 4.3% 30.4%
こども 9.3% 58.8% 5.2% 2.1% 24.7%
理学 17.7% 38.5% 5.2% 1.0% 37.5%
作業 28.4% 42.0% 4.5% 1.1% 23.9%
言語 10.9% 46.9% 6.3% 4.7% 31.3%
専門 28.6% 42.9% 28.6%
合計 19.2% 42.2% 5.7% 2.4% 30.6%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%


●本学・本校の施設・設備
大変満足している
やや満足している
あまり満足していない
ほとんど満足していない
わからない
未記入
看護 32.3% 50.8% 8.9% 1.3% 6.6%
社福 27.6% 51.3% 9.2% 11.8%
介護 34.8% 43.5% 8.7% 13.0%
こども 30.9% 58.8% 6.2% 4.1%
理学 29.2% 50.0% 8.3% 2.1% 10.4%
作業 34.1% 54.5% 3.4% 1.1% 6.8%
言語 26.6% 43.8% 17.2% 1.6% 10.9%
専門 50.0% 28.6% 14.3% 7.1%
合計 31.4% 51.0% 8.7% 1.1% 7.9%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

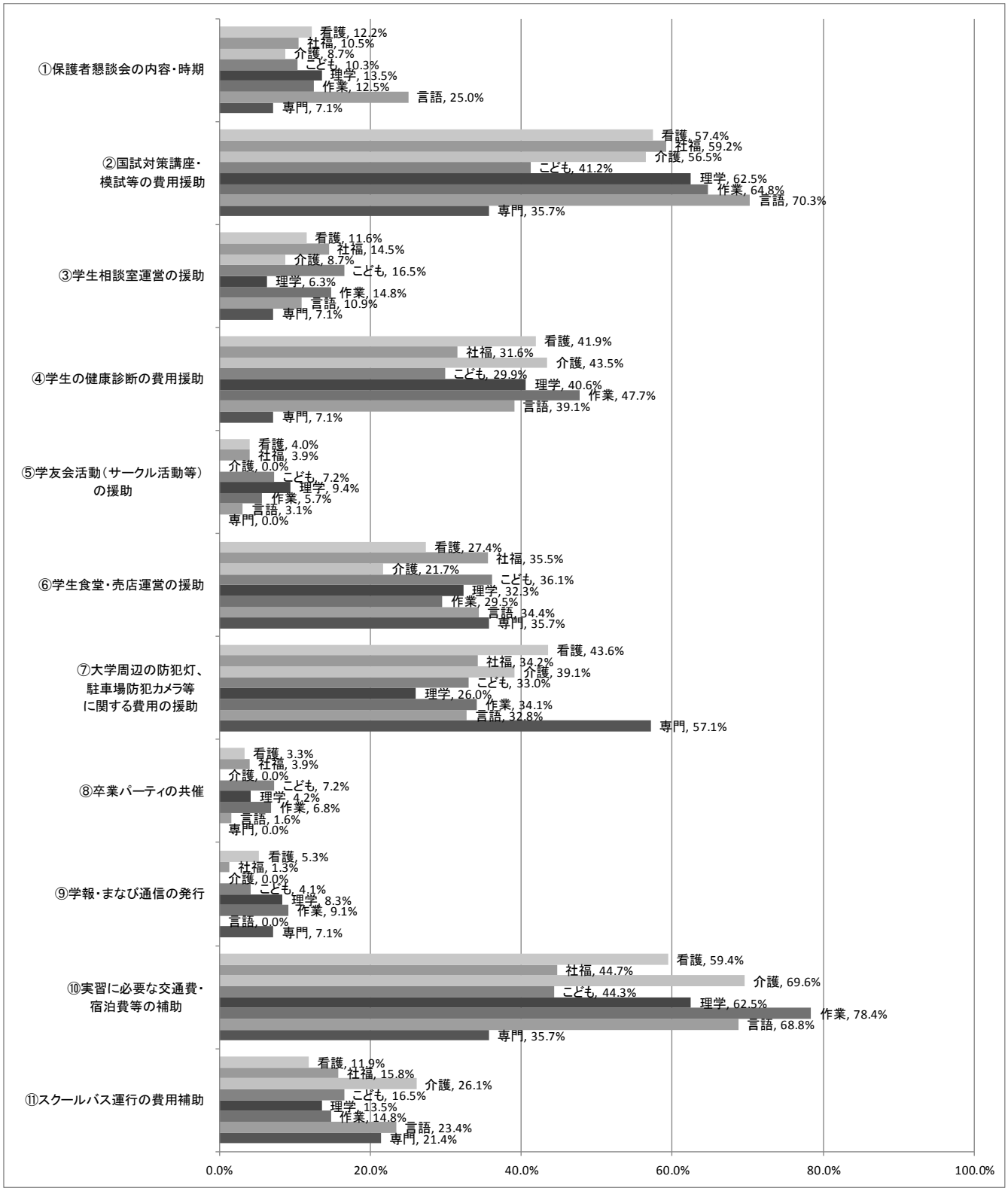

●本学・本校に対する総合評価（進学させてよかったかどうか）
大変満足している
やや満足している
あまり満足していない
ほとんど満足していない
わからない
未記入
看護 38.9% 55.8% 2.0% 3.3%
社福 39.5% 51.3% 2.6% 1.3% 5.3%
介護 52.2% 43.5% 4.3%
こども 45.4% 47.4% 3.1% 4.1%
理学 46.9% 45.8% 5.2% 2.1%
作業 54.5% 40.9% 4.5%
言語 37.5% 46.9% 3.1% 1.6% 10.9%
専門 78.6% 21.4%
合計 43.6% 49.5% 2.4% 0.3% 4.2%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問．本学・本校から発信される情報を得るのに利用しやすい手段は何ですか。（複数回答可）



問．後援会では下記の事業を行っています(行う予定でいます)が、より充実させてほしいことは何ですか。
（複数回答可）



2016年度保護者満足度調査自由記述と質問への回答

2016年度保護者満足度調査に多くのご質問・ご要望をお寄せいただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただきましたご意見・ご要望に個々に回答できませんが、[質問・要望に対する回答]として次ページ以降に回答させていただきます。

また、自由記述に本学の教育に対して好意的なコメントもいただきましたので一部ですが下記にご紹介いたします。

今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

[自由記述の一部の紹介]　※学年は2016年度時点

・学内の先生始め職員の方々はいつも丁寧に接してくださるようで感謝しています。親元を離れて1人で生活をさせているので、困ったことが生じたときに自分自身で解決しなければならず、随分支えていただいています。〔看護学部/1年次生〕

・昨年、海外研修に行かせて頂きとても良い刺激を受けて帰ってきました。海外で働きたいと、その後の学びに力が入っているようです。〔看護学部/1年次生〕

・入学してからの子どもの様子を見ていると、毎日とても充実していて楽しそうです。仲の良い友達もでき、勉学する環境もとても恵まれているので不安なく通えています。看護を学びたいと聖隷へ入学し、日々学ぶことに意欲的な姿を見ると、通わせて良かった！と親も安心しています。〔看護学部/1年次生〕

・友達関係で悩んだ時期にアドバイザーの先生が相談に乗ってくれて精神的に楽になったと言っていました。親としてもありがたかったです。〔看護学部/2年次生〕

・聖隷グループの病院でアルバイトをさせてもらっています。なかなかできない貴重な体験のようで、本人も大学で習った事を実践できて大変勉強になるようです。〔看護学部/2年次生〕

・聖隷で勉強をさせていただき、大変感謝しております。男子なので看護学部入学で、心配していたのですが、男子学生も多く、男性の若い先生も気にかけてくださるようで、今ではとても安心しております。自宅生で、毎日顔を合わせていても、なかなか面と向かって話を聞くことはないのですが、充実した学生生活を送っている様子はよくわかります。奨学金制度がしっかりしており、これから始まる就職支援も親として安心できるようなので、進学させてよかったです。〔看護学部/2年次生〕

・看護の実習では先生方の励ましやお声掛けに、随分と救われたようです。また実習先の担当看護師さんから、ささやかな行動にも気づいてお褒めの言葉をいただいた事は、やる気につながったのではないかと思います。〔看護学部/4年次生〕

・ゼミ担当の先生がとても親身に相談や指導を行ってくれたおかげで、内定を頂くことができました。ありがとうございます。〔社会福祉学部社会福祉学科/4年次生〕

・4 年間ありがとうございました。実習にゼミに国家試験講座にと充実した大学生活だったと思います。公務員試験にも合格しあとは国家試験を残すのみとなりました。一生懸命頑張っている成果がでるといいなと祈るばかりです。先生方にも様々なアドバイスやご指導をいただき大変感謝しております。〔社会福祉学部社会福祉学科/4 年次生〕

・アドバイザーの先生や学科の先生がこまめに面談をしてくれたり、些細な疑問などにも事細かに対応してくれるようで、安心して大学生活を送ることができています。〔社会福祉学部介護福祉学科/2 年次生〕

・先生方が学生のためを考え、一人ひとりの個性や性格を理解し、親身になって対応してくださっていると思います。これから就職に向けて活動していくわけですが、とても心強く思います。〔社会福祉学部こども教育福祉学科/3 年次生〕

・この大学で学ばせていただいたことにとても感謝しています。各学科の先生、事務職員の方々の対応がとてもよく子供が不安なく過ごせたようです。就職の面でもアドバイスをいただくなど支えていただきました。ありがとうございました。〔社会福祉学部こども教育福祉学科/4 年次生〕

・先生たちの接し方が優しく、授業も分かりやすいと子どもから聞きました。大学を選ぶ際、どこにしようか迷いましたが聖隷クリストファー大学に進学してよかったと思います。〔リハビリテーション学部理学療法学科/1 年次生〕

・大学と言うと、どちらかというと、もっと放任主義なものかと思っておりましたが、学生に対する学習・心身面でのサポートはもちろんのこと、保護者にも懇談会などで細やかな情報を伝えようとする姿勢はすばらしいと思います。先生方のご指導にはとても熱意が感じられ、聖隷に進学させてよかったと思っております。〔リハビリテーション学部作業療法学科/2 年次生〕

・大学見学をしてから「聖隷に行きたい」と言い始め、今も「聖隷でよかった」と言っています。信頼できる先生にも出会い、良い雰囲気の中で学生生活を送ることができているようで安心しております。これからもご指導よろしくお願いします。〔リハビリテーション学部作業療法学科/4 年次生〕

・先生方の熱心なご指導もあり就職先も早々に決まり感謝しております。国家試験もいろいろな対策をしてくださっているようであまり不安はないです。〔リハビリテーション学部言語聴覚学科/4 年次生〕

・課題やレポートで忙しくしていますが、嫌々やっているようでなく、充実した毎日を送っているようです。一人暮らしなので見ているわけではありませんが、今までで一番進んで学んでいると思います。良い先生方と先輩・友達に恵まれ、この学校に入れてよかったと思います。〔介護福祉専門学校/1 年次生〕

［質問・要望に対する回答］

Ⅰ．学部・学科・専門学校

【看護学部】

1）授業（講義・演習）

（質問）　**授業中の私語が気になるようです。真剣に授業に取り組む学生にとっては、とても迷惑です。先生方から厳しく注意していただき、改善されないようであれば、退室させるぐらいの指導を望みます。**

（回答）　授業中の私語対応については、学生の皆さんに注意するとともに「私語攻略ハンドブック」を教員が共有して対応しています。初回の授業時には私語を禁止することを説明しています。各授業の始まり等で注意喚起し、授業の途中であっても私語への注意を促す姿勢で取り組んでいます。

（質問）　**フィジカルアセスメント演習は、分かりづらいことが多いと親に話しています。**

（回答）　フィジカルアセスメントに用いる技術は、演習時に教員がデモンストレーションを示しています。分からないことがあれば、学生の皆さんが質問できるように、自己練習中に質問に応じられる時間帯を教員が設けています。そこで、積極的に教員に質問するよう学生の皆さんに勧めます。

適切な看護技術の修得を目指して自己練習に臨み、疑問が湧くということはとても大事なことだと考えています。湧いてきた疑問を解決するために、ぜひ教員を活用してほしいと思います。

（質問）　**内容をしっかり理解できる話し方が上手な教員がいる反面、全く理解しにくい授業をされる教員もいるようでもっと生徒の気持ちを分かってほしいです。分かる授業をしてもらいたいです。**

（回答）　本学では、教員の教育力向上のためのFD（Faculty Development)活動の一環として、教員同士がお互いの授業を受講して意見交換を行う「ピアレビュー」を実施しています。教育に関する研修会やピアレビューの成果を活かして、いっそうの教育力の向上に努めていきたいと思います。学生には、授業評価やリアクションペーパー（意見・感想）を通じて、授業へのフィードバックを行い、学生の声を活かした教育を進めていきたいと思います。

（質問）　**実技試験が重なり、みんなが集中するため、実習室での自習が思うようにできません。**

（回答）　実習室の使用時間は月～金曜日の8時から21時、土曜日の8時から17時となっています。実技試験前に学生の皆さんが集中することを考え、各学年の実技試験日程を調整し数週間を空けるように設定しています。また、科目開始時に実技試験日について開示し、学習時間の予定が立てやすいように配慮しています。早めに自己練習の予定を組み入れることを学生の皆さんに促します。

2）臨地実習

（質問）　**学外の病院の実習の際に遠方の病院であったため、朝がとても早く、仕事を休んで送って行く事になり大変でした。**

（回答）　1年次と2年次の基礎看護学実習では150名以上の学生が実習を行っています。実習施設への通学は公共交通機関を使用して通学できることを考慮し浜松市内に複数確保しています。遠方からの通学に困難があることを考慮し、2017年度からは通学困難施設について学生の皆さんに調査し、配慮するように変更しています。

（質問）　**実習先までの距離が遠い時があり、子どもが困っていました。もう少し配慮してほしい。**

（回答）　学生の皆さんにとっては、交通の不便な実習場所があるかも知れません。しかし、本学は、学生の皆さんによりよい看護ケアを実践している場を通して、学びを深めて欲しいと考えています。そのため、めったに接することのできない先端医療や、よりよい看護ケアを提供している病院・施設、地域を実習場所として選んでいます。

なお、在宅看護学実習では市内に点在する8ヵ所の事業所で実習を行っているため、実習前に学生の皆さんに居住地、交通手段を調査し、負担がないよう公平に配置を検討しています。

（質問）　**実習先の看護師にかなり怒られて大変だったことがあったようです。そのような時のケアについてはどのように考えていますか？**

（回答）　学生が看護スタッフに厳しくされたり、怒られたと感じた場合は、まずは学生にその時の事情や受け止めを具体的に聞きます。また、同時に実習先の看護スタッフにも状況を確認し、指導理由を確認します。学生は看護スタッフから言われると緊張してしまい、自分が思っていることを十分に伝えられないことも多いので、学生の状況を看護スタッフに伝え、理解してもらえるようにしています。双方の状況を確認したうえで、学生が安心して実習に臨むことができるよう、看護スタッフと共に学生への指導方法や内容を検討しています。

さらに、毎年、教員と臨床指導者が話し合う『実習指導担当者会議』を開催し、実習指導の問題点や課題について、共有し検討しています。

（質問）　**遠隔実習先への交通手段のない学生に対し、担当教員は中途半端な送迎で、自家用車を所有している学生に甘え、親としても日々心労が募った。宿泊学生には補助が出て、送迎に努力した者への補助がないのはいかがなものか。また、休日であるはずの土曜日に行われた運動会に学生を急きょ参加させ、教員が欠席したことは無責任だと思う。**

（回答）　ご指摘の内容に関しまして、実習場の受け入れ体制が変わり、実習施設が変更となり、それに伴って交通手段も変更し、動揺している学生達の気持ちを十分に配慮したきめ細やかなケアができていなかったと深く省みております。より一層、実習施設との連携を密にし、安心して学修できる場の確保と支援体制作りに努めてまいりたいと思います。また、学びの多い行事は休日でも実習したいと考えています。その場合、教員が同行します。

3）教員

（質問）　**アドバイザーの先生によっては親身になってくださる方もいるが、うちの子の担当の先生は成績を渡す際にあまり話を聞いてくれずアドバイスも少ないように感じます。**

（回答）　アドバイザー教員は現在2名体制になっています。学生が教員のことで困った時に、今までより相談しやすくなっていると思われます。学生が不利益を被らないように、困ったことがあればぜひどちらか相談しやすいアドバイザーに相談してほしいと思っています。教員は担当以外の学生の相談にも応じていますので、学生の皆さんはアドバイザー以外の教員にも相談できます。面談等を希望する場合には、事前にメールなどで予約を取って貰えれば確実です。

（質問）　**保護者懇談会に欠席し、個別面談ができなかったのですが、他の日でも可能でしょうか。いつでも連絡してくださいと言われても遠慮してしまう。**

（回答）　保護者の皆様方との個人面談は、ご要望にお応えし、アドバイザー（担当教員）等が日程を調整して行っております。授業や実習で不在になることもありますので、お差し支えなければ、ご連絡先等を事務職員にお伝えください。改めて、アドバイザー等がご連絡いたします。

4）保健師課程

（質問）　**保健師課程の実習（交通費）に別途料金がかかりすぎると思う。実習先を決める際に、希望のアンケートを取ってほしい、遠方でも親せき宅がある場合もあるので。**

（回答）　実習場は市町村や保健所等の公的機関が中心です。保健師課程を選択した80名近い学生は、浜松市のみの実習地では人数に限界があり、静岡県内の西部・中部地域に実習場が広がります。どの実習場も学ぶ環境としては高い質を保っています。通学できない場合は宿泊も伴い、経済的な不公平を是正するために、事前アンケートを実施し、可能な限り公平な配分を目指しています。さらに実習の履修者より一定額の実習交通費を集めさせていただき、宿泊者の宿泊代等や高額になる交通費へ一部補てんをしています。

（質問）　**保健師課程の勉強会に別途料金がかかりすぎると思う。**

（回答）　公衆衛生看護学領域の教員が行う4年次の国家試験対策の勉強会は、もちろんすべて無料です。お金がかかる勉強会は、希望者に行っている学外の講師の国家試験対策講座だと思います。これは強制ではなく、あくまでも希望者ですのでご理解ください。また、教員の独自の学習プログラムによる保健師課程の学習支援は、3年次の春セメスターから「保健師課程ガイダンス」として概ね月1回のペースで行っています。

5）国家試験対策

（質問）　**国試対策を充実して欲しい。個別にも相談に乗り、国試に向けて精神面・生活面もフォローして欲しい。**

（回答）　看護学部の国家試験対策は3年次秋より本格的な取り組みを始め、4年次にかけて国試ガイダンスを9回行い、その時期に合わせた学習への取り組み方を指導しています。また教員作成の模擬試験を10回以上、業者の模擬試験を5回程度、教員による勉強会を15回以上行うなど多様な国家試験対策を実施しています。4年次生からは学生ごとに担当教員を決めて個人に合わせた指導を行っており、複数回の面接で学習面だけでなく精神面・生活面の相談にも応じています。不安の大きい学生には面談の回数を増やして、試験前から試験後まで対応しています。

6）就職関係

（質問）　**今後の就職支援活動等の具体的な内容を展開して欲しい。**

（回答）　同封の『就職ガイドブック（保護者用抜粋版）』の中に、就職支援について掲載していますのでご覧ください。また、大学ホームページの「在学生の方」⇒「就職センター」をクリックしていただくと、就職支援行事の記事を掲載していますので併せてご覧ください。就職についてわからない時には、いつでも就職センターを訪ねるようお伝えください。

（質問）　**まだ１年次だからかもしれませんが、就職活動の指導・充実が見えてこない。**

（回答）　1年次生は「基礎演習Ⅱ」や「専門職連携の基礎」の科目の中で、卒業生や4年次生・教員から、看護専門職としての役割や連携について学び、自分の将来をイメージする機会を持っています。就職先の情報については、卒業生からの記事をまとめた『キャリアガイドブック』を発行しており、今後ホームページにも掲載する予定ですのでぜひご覧ください。

奨学金の説明会では、病院から貸与を受けることは卒業後その病院に就職することが前提となるため、インターンシップに参加し病院のことを良く知るように説明をしています。また、保健師や養護教諭の採用試験を受けようと考えている方には、病院以外の奨学金を申請するように説明しています。

（質問）　**長い実習期間と就職活動が重なり本人は大変だったようです。**

（回答）　病院の就職試験の時期が早まる傾向にあり、就職試験の準備が看護実習と重ならないように、本学で開催している病院説明会の時期を早めて、3月初旬に行なうようにしました。3月の春休み期間中に、インターンシップに参加して希望する病院や施設を絞り込むように説明しています。また、エントリーシートの作成には時間がかかるので、3月～4月初旬に作成し、就職センターで添削を受け、準備しておくように促しています。

【社会福祉学部】

●社会福祉学部共通

（質問）　**在学生が卒業生の現場を見学し、話を聞く機会が欲しい。**

（回答）　そのような希望がある場合には、就職センターが窓口となって卒業生と連絡調整を取り、希望に沿うよう調整ができます。また、それ以外にも、就職支援活動として次の2つの機会を設けています。一つは毎年11月頃の土曜日に実施する「卒業生による福祉の仕事報告会」および幼稚園教諭や保育士希望の学生に向けての「卒業生との懇談会」です。3年次生・4年次生に出席するように呼び掛けています。もう一つは『キャリアガイドブック』の発行です。今年度から1・2年次生や保護者の方々にも7月の保護者懇談会で配布できるよう、現在作成中です。このほかにも、ゼミや実習に関する授業でも、現場で働く先輩たちからお話をしていただく機会を設定しています。

●社会福祉学科

1）授業（講義・演習）

（質問）　**授業と授業の空き時間が長い（1 限目と 6 限目など）有意義な時間の使い方ができないか。**

（回答）　他学科の科目の配置状況、非常勤講師の対応可能時間の制限などにより、社会福祉学科の時間割で特に空きコマが出現することがあります。

これに対しては学生に丁寧に説明するとともに、その時間の活用の仕方（図書館やラーニングコモンズを活用しての事前・事後学習、近隣施設での短時間のボランティア活動）を提示するなど、有効に活用するよう指導いたします。

（質問）　**国家試験対策講座や公務員試験対策講座を必ず受講できるよう配慮してほしい。**

（回答）　一人でも多くの学生が受講できるよう、開講時期については最大限配慮をしています。ただし、社会福祉士・精神保健福祉士の資格取得のための実習について、実習先の都合により時期が重なる場合があることを予めご了承いただく必要があると考えます。

2）教員

（質問）　**教員との交流がなく、信頼関係が築けない。高校の三者面談のようなものがあると良い。**

（回答）　大学は保護者の方と連携しながら学生支援にあたる所存であること、気がかりなことは教員にご相談いただきたいことを、保護者の皆様に周知していきたいと考えます。

また、年に1回の保護者懇談会はそのための重要な機会です。一人でも多くの保護者の皆様にご出席いただけるようご案内を強化していきたいと考えます。

3）学生生活

（質問）　**就職先決定後生活が乱れた。（言葉遣い、お金の使い方等）**

（回答）　保護者の方々が気づいた学生の変化について、気軽に大学に相談していただければ、アドバイザー・学科として対応をいたします。

●介護福祉学科

1）臨地実習

（質問）　**実習先が近くにたくさんあると進学前に大学の先生から聞いていた。確かに多くあるが、実習先が遠い学生もおり不公平感がある。また、実習先に公共交通機関を使う以外に方法がない学生と、自家用車で通える学生がいるので、その点も踏まえて実習先を決めてほしい。**

（回答）　実習配属については、本人の希望を丁寧に聞くとともに、施設種別、交通手段、介護実習Ⅰ、介護実習Ⅱ、介護実習Ⅲのバランスなどを総合的に考慮して決めています。極力不公平にならないように配慮をしておりますが、思うように行かない場合もあります。今回ご意見をいただいたことを踏まえ、今後の実習配属に反映させていきたいと思いますし、これまで以上に学生への丁寧な説明を心掛けます。

2）就職関係

（質問）　**就職に対する支援や指導がどのように行われているか、情報が保護者に伝わってこない。（自分が学生時の就職活動とは異なるようで少し不安）**

（回答）　保護者懇談会等で丁寧に説明することを心掛けておりましたが、当日出席出来なかった保護者の方々への情報発信が不十分だったと反省しております。保護者の方への個別面談も可能ですので、遠慮なく教員に連絡していただければと思います。また、学科ブログなどのICTも活用して、情報を発信していきたいと思います。

【リハビリテーション学部】

●理学療法学科

1）授業（講義・演習）

（質問）　**学科により、講義を受ける姿勢について差が大きいと聞いています。また、グループワークを一部の学生（例えば成績上位者）が担っていることが多く負担が大きいようです。水曜日以外昼休みがなく、グループワークのまとめや報告会等があり、食事もできない時もあるようです。せめて 30 分位は昼休みとして確保してほしいと思います。3，4 時限両方授業がある日は特に困ります。医療人となる学生として基本的な食生活の考え方もしっかり指導してほしいと思います。**

（回答）　理学療法学科はアクティブラーニングを推奨しており、その学修で培われた主体性は就職した病院から高く評価されています。しかし、ご指摘いただきましたように、一部の学生に負担がかかるなど、個人の取り組む姿勢により成果にバラつきが生じることもあります。教員は積極的に遂行状況の把握に努めると共に、昼休みの時間の使い方も含め、無理のない学修プランとなるようアドバイスをします。また学修成果が個別に評価できるような指標の導入を検討します。

（質問）　**・テスト等の実施後、どこを間違えていたのかわからないので不安を感じているようです。わかりきった質問でも、ヒントでもよいので答えていただきたいと思います。**

・単位を修得できなかった科目に対して、補講や補習を充実させてほしいと思います。

（回答）　小テストなどの正解は授業の資料で確認できると思いますが、簡単な解説をするように心がけます。分からないことがありましたら遠慮なく教員に質問してください。

教員は、専門科目の定期試験で合格に達しなかった学生に対し、問題点の把握に努め再試験に向けて十分な準備して臨むよう指導しています。それでも再履修となった場合は、現在の学修を継続しつつ、学科教員が役割を決めて個別に指導する体制をとっています。このことを確実に実行できるよう丁寧な指導を心がけます。

2）臨地実習

（質問）　**実習先の決定のシステムが明瞭化されていないように思います。決定の基準や視点を学生にも保護者にも知らせるべきだと思います。また、実習費として集金されたお金の収支報告をお願いしたいと思います。必要経費だと思っていますが、遠方での実習の必要性や自己負担の割合なども知りたいと思います。**

（回答）　臨床実習の学生配置は、学生や家族の費用および心身の負担を最小限にできるよう、科目責任者やアドバイザーが原案を作成し、学科会議で何度も検討しています。詳細につきましては、学生には臨床実習前のオリエンテーションで、保護者の皆さまには保護者懇談会でご理解いただけるように丁寧に説明をさせて頂きます。なお、実習費の収支報告等、ご指摘頂きました点につきましても検討させて頂きます。

3）教員

（質問）　・学年ごとにアドバイザーの先生がいて子ども自身も安心できると言っていました。親から離れて通っているので、親も安心できます。

・担任の教員が一人ひとりの事をしっかりサポートしていただいて助かります。学修面だけでなく生活面でも気にしていただいて安心してお任せできますが、やるのは本人です。厳しくするところは厳しくしていただき、国家試験合格できるようサポートを更にお願いしたいです。

（回答）　理学療法学科では学生を縦と横のグループに分け、学生指導と学修支援を行い、学科会議で学生の学生生活、学修状況などを確認し、適宜丁寧に指導するようにしています。また、保護者の方との情報共有を図り、家族からも支援していただけるように心掛けています。家庭でも、大学での生活や学修の話をよく聞いていただき、ご理解とご支援をお願いいたします。

4）就職関係

（質問）　・就職支援をもっと充実させてほしい。

・就職する病院の選択が心配です。家から通える範囲だと限られてしまいます。アパート通いでは生活ができるか心配です。アドバイスをお願いします。

（回答）　本学の就職支援では、病院・福祉施設との就職説明会や卒業生との懇談会、専門職者の講演会、就職や卒業後のキャリアアップについて学ぶ授業、公務員試験対策講座や論作文対策講座などを行っています。キャリアガイドブックもぜひご活用ください。就職活動に関する悩みは、就職センターや各学部学科の教員に相談してください。

●作業療法学科

1）臨地実習

（質問）　・学外の病院への実習で冬期に寒冷地へ行きました。無事に終了できましたが、雪や道路の凍結に不慣れで大変心配しました。実習場所は季節を考慮して選んで頂きたいと思います。

・実習先へ行く際、交通機関を利用すると時間に間に合わず、やむを得ず車での移動になりました。

（回答）　今回の寒冷地での実習については、施設の寮の建て替えの時期と重なってしまい、離れた宿から通うことになってしまいました。今回は特別な理由によりご心配をおかけしましたが、今後も実習地の選定について配慮していきたいと思います。

2）就職関係

（質問）　作業療法士の就職先はあまり多くないと聞いていますのでその点のサポートをよろしくお願いいたします。

（回答）　近年の求人状況は、2016年度は求人数2,652人（求人倍率83倍）、2015年度は2,672人（86倍）、2014年度は2,622人（81倍）でした。また、第1期生より就職率100％が続いています。作業療法士の就職先は、病院等の医療機関のみでなく、社会福祉施設や教育関係等、現状では多くの分野からの求人が毎年きております。学生の意向を十分聞き丁寧にサポートしていきたいと考えています。

3）情報提供

（質問）　**・大学の様子がよくわからないので評価ができません。授業料が高額ですがどのように活かされているか具体的に説明があると納得できます。**

・講義や実習の進捗情報があまり入ってこないと感じました。

（回答）　大学ではいくつかの情報公開ツールを準備しておりますが、十分に周知できておりませんでしたこと、お詫び申し上げます。授業料等につきましては財務状況の詳細が大学のホームページにおいて情報開示されております。大学での学生さんの様子につきましては、学科ブログをご覧いただけると、よくお分かりになるかと思います。その他、年1回秋に保護者懇談会を開催しており、教員との個別面談の機会も設けています。

教員一同、保護者様と共に学生さんをサポートしていきたいと考えています。引き続きよろしくお願い申し上げます。

●言語聴覚学科

1）授業（講義・演習）

（質問）　**定期テストの前に、複数の科目でレポートや発表等の課題があり、テストに対して十分な学修時間が取れないことがあるようです。**

（回答）　課題の提出時期については、常に学科会議において教員間で情報を共有し調整をしています。今後は、可能な限り具体的日程をシラバスに記すなどして可視化し、複数のレポート等の課題がある場合には、2週間ほどの期間を設けてじっくりと取り組めるよう配慮します。さらに、学生とのコミュニケーションを今以上に密にし、課題や学修が滞りなく進んでいるか、課題による負担やつまずきが生じていないかを確認していきます。

（質問）　**実習に関する情報（施設、成績など）を早めにいただきたいです。また実習先での内容や施設は子供に伝えていると思いますが、保護者にも直接教えていただきたいです。他学生の実習先も情報として知りたいです。**

（回答）　臨床実習は専門基礎科目・専門科目の必須科目の履修が前提となり、臨床実習Ⅰは3年次秋セメスターの定期試験後に履修の可否が決まります。そのため、実習先は定期試験後に発表されます。実習成績は実習施設の評価を受け、大学で総合判定をしています。基本的には他科目と同様に、本人から保護者に成績を伝えるよう指導をしています。また、他学生の実習施設などは保護者にお伝え出来ないことがあります。以上のことをご理解頂き、気になることがありましたら大学までご連絡ください。

2）教員

（質問）　**年齢に合った対応をお願いしたいです。先生から見れば子供でしょうが年相応の対応をお願いします。また、先生から行事や集まりなどの連絡が遅かったり、急な変更があったりして困ることがあるようです。**

（回答）　教員によっては親しみを込めて接していることが、中には子ども扱いと感じられることがあったのかも知れません。今後は一人の大人として接するよう教員一人ひとりが気をつけて対応します。また、教員からの連絡につきましては、予定が決まり次第お知らせし、できるだけ変更がないように努力します。

3）国家試験対策

（質問）　**国家試験対策の模擬試験で、教員の方が作った問題に不適切なものが多いと、子どもが悪戦苦闘していました。**

（回答）　理学療法学科や作業療法学科は国家試験専門の業者による外部模試がありますが、言語聴覚学科は外部模試がありません。そのため、模擬試験の問題は全て教員が出題傾向を調べながら作成しています。また、2016年度は模擬試験を前年度の16回から21回に増やしました。そのため、細心の注意を払って問題は作成していますが、解釈が難しい問題が出題されることがありました。今後は、しっかりと問題を精査し、適切な模擬試験を実施していきます。

4）就職関係

（質問）　**各病院で行われる説明会は複数同時でも自由に参加させるべきだと思います。就職するのに病院の情報を得るための見学でもあるので何箇所か見学できるようにして頂きたいです。**

（回答）　言語聴覚士の就職活動は一般企業とはやや異なり就職内定を辞退しにくい状況があります。そのような理由から、見学する際には過去の資料などを十分に調査したうえで行うように指導をしています。また就職施設との信頼関係の観点から、同時に複数の施設を受験しないことを原則にしていますが、就職見学や説明会については今後柔軟に対応していきたいと考えています。

（質問）　**12 月を過ぎると、就職活動を禁止されているようですが、その期間中に希望している病院の募集があった場合にどうすればよいでしょうか。**

（回答）　言語聴覚士の場合、国家試験に合格しなければ内定病院・施設への就職はできません。言語聴覚士国家試験の合格率は例年高くありません。その意味で、本学としては全員を社会に送り出すための国家試験対策は大変重要と捉えています。毎年各学生には年度当初から、12月以降は国家試験対策に集中するよう指導しています。学生の国家試験対策の進捗状況を把握しながら、個々のケースごとに検討していきます。

5）情報提供

（質問）　**ブログの更新頻度が少ないため十分とは言い難いです。ブログが学生生活の様子ではなく、教員の方々の研究の話が多くて子どもたちの普段の様子がわかりませんでした。**

（回答）　2016年度は81回ブログを更新しました。掲載内容は、学生生活や学科におけるイベントだけでなく、教員の研究活動も知っていただこうと考え、幅広く掲載しました。その分、学生生活の様子をお伝えする内容が少なくなりました。2017年度は、授業をはじめ学内活動や学生生活について紹介することを企画しています。今後も定期的に更新しますので、ぜひともご覧ください。

6）その他

（質問）　**言語聴覚士は対人援助の専門職であるので、コミュニケーション能力、メンタルの強さ、生涯に渡って学修が必要であることを身につけて卒業させていただくとありがたいです。**

（回答）　ご指摘のとおり、将来専門職としてコミュニケーション力、精神的な安定、生涯学び続ける力が必要です。本学では4年間の学修を通じて、段階的に専門職としての基礎を養えるようにカリキュラムを編成しています。ご家庭におかれましても、これらの点についてご子息と意見交換し、気になる点はアドバイザー等にご相談ください。

【介護福祉専門学校】

1）編入学

（質問）　**大学への編入学手続きの条件や方法、期限等が保護者にも早い段階でわかるとありがたいです。**

（回答）　5月に行われる保護者懇談会でお伝えしました。保護者懇談会に不参加で資料を希望される方には学生さんを通してお渡しています。編入学に関心がありましたら、個別相談も行いますので、何なりと申し付けていただきますようにお願いいたします。

2）学校での様子

（質問）　**保護者懇談会のときに個別に学校での様子を教えていただきました。家ではあまり学校のことを話さないので安心しました。もっとこういった機会を増やしていただけたらと思います。**

（回答）　保護者懇談会を年に2回行うのは難しいのですが、随時話し合いの機会は持ちますので、学校や教員に電話やメールをしていただきましたら、個別対応をいたします。

3）奨学金

（質問）　**奨学金は充実していると思いますが、情報や連絡が事業団から来るのか、学校から来るのかがわかりにくい面がありました。**

（回答）　見学・面談の日時を決めるなど、直接奨学金支援法人の担当者から連絡した方が早いと考えました。しかし、窓口が分かりにくい結果となりましたので、今後は、窓口を学校といたします。

Ⅱ．全学関係

1）就職関係

（質問）　**就職の情報を保護者にも提供してほしい。**

（回答）　同封の就職ガイドブックに就職活動スケジュール、卒業生の就職先を掲載しています。またホームページから「WEBキャリア支援センター」「就職センター」のページをご覧いただけます。

学部ごとに病院説明会・福祉施設説明会、卒業生（専門職者）による仕事報告会、4年次生による就職活動報告会などを実施しています。履歴書の書き方、面接の受け方の講座や個別の履歴書添削、模擬面接なども行っています。

2）国際交流

（質問）　**・募集人数が少なく参加できないことになり、とても残念がっていた。**

・申込みましたが選考で落ち、その後からモチベーションが下がってしまった。

（回答）　希望する全ての学生の皆さんに参加して頂きたいものの、定員枠の拡大は難しく、選考せざるを得ないのが現状です。再度チャレンジをして頂ければと思います。また、大学内で英語を用いた体験ができる下記のプログラムを用意していますので、国際交流に興味のある学生の皆さんは積極的に参加して、異文化交流を深めてください。

1. 大学教員（外国人教員含む）が主催する国際交流イベント（年5回程）への参加
2. 海外からの研修生を受入れる際の歓迎交流会等の各種プログラムへの参加
3. 英会話サークルへの参加

（月2回、ネイティブを含む英語教員が顧問となり英会話を中心に活動を行っています。）

（質問）　**・海外研修・海外実習の情報量が少ない。**

・もう少し早く海外研修の情報が知りたいです。

・具体的なことがよく分からない。

（回答）　大学では、シンガポールのナンヤン理工学院、中国重慶市の第三軍医大学、米国カリフォルニア州のサミュエルメリット大学、韓国安東市のカトリックサンジ大学の4校と交流協定を締結し、積極的に海外研修・海外実習を展開しています。

各プログラムの詳細については、国際交流センターホームページ上に掲載しており、リンクしているブログには、随時、研修生受け入れ時・派遣時の情報を写真と共に紹介しています。

本学の国際交流活動について詳しく紹介した国際交流パンフレットを4月の新入生オリエンテーション・在学生ガイダンスや保護者懇談会等で配布しています。今後は、学生の皆さんだけでなく、保護者の皆様にも海外研修の情報が届くように、ホームページへの掲載方法等を工夫いたします。

（質問）　**海外研修に参加ができて満足していますが、家族としては、治安が心配です。危険とわかった時には中止にしていただけると安心します。**

（回答）　誠に残念ですが、朝鮮半島の政情が不安定であるため、2017年8月実施予定であった「韓国海外研修（カトリックサンジ大学への学生派遣研修）」を中止といたしました。

3）学生生活

【施設・設備関係】

（質問）　**土曜日の図書館の開館時間を延長し、21 時までにしてほしい。**

（回答）　現在、土曜日の開館は、授業に合わせて、9時～18時で運用しています。開館時間は、下校時の学生の安全、利用者数、校舎の施錠、職員数、経費との費用対効果の問題を総合的に判断して決めています。2017年度は、定期試験前の7月22日、29日と1月20日の3日間について、開館時間を9時～19時に延長します。

（質問）　**Wi-Fi（無線 LAN）に関する要望**

Wi-Fi 環境を充実させてほしい。PC を登録しなくても自由に接続したい。スマートフォンを Wi-Fi につなげてほしい。

（回答）　現在、Wi-Fiは、1・2・3・5号館、専門学校棟にアクセスポイントがあり、利用できる場所をアクセスポイントマップとして公開しています。授業で同時に接続する台数が多い教室や、大教室には高性能無線LANアクセスポイントを設置しています。

これまでWi-Fi接続は、授業での安定した利用を最優先するために、1人1台のノートパソコンまたはタブレットの接続を原則としてきました。年々増加するWi-Fi接続数に対応するため、2016年度には、Wi-Fi用のインターネット専用回線を新設し、ネットワーク全体の負荷を分散する整備を行いました。

2017年度は、ご要望の多いスマートフォンの接続数に対応できるかどうかの検証を行います。スマートフォンを自由に接続ができる場所と時間については、授業での利用に影響のない範囲で設定することを検討しています。

【通学関係】

（質問）　**駐車場へ行くまでの道のり、駐車場の敷地内が寂しく、夜一人になったときに心細い。下校時に道が暗く、街路灯も少ないので、怖いと子供が言っています。**

（回答）　2016年度は、キャンパスから第4駐車場へ行く道路は、駐車場の照明と、自治会のLED照明への変更により明るくなったと考えます。しかし、第2駐車場前の川沿いの道路など、まだ暗い場所があるため、自治会とLED化について相談しながら、街路灯の整備を進めます。また、第2・第3駐車場内に暗い場所があるため、照明の増設を検討します。さらに、防犯カメラ設置看板の追加等の検討も並行して行います。

（質問）　**スクールバスをもっと利用しやすいように運行時刻を工夫してほしい。**

（回答）　2016年4月から本学学生（大学・専門学校）専用のスクールバスを運行しています。授業のある月曜日～金曜日は3往復、授業のある土曜日は授業の開始時刻・終了時刻に合わせて、浜松駅とキャンパス間を運行しています。観光バスタイプの大型車両を2台導入し、全員が座って乗車できるようにしています。

スクールバスを利用している学生全員に、曜日ごとの利用時間の希望調査を行い、特に帰りの時間について可能な範囲で要望に沿った時間に変更していきます。

（質問）　**台風等の際の休講の判断時間をもっと早くして欲しい。**

（回答）　事前に台風の接近が予想される場合には上陸予想日の前日のうちに休講等の判断をし、アナウンスするようにします。急な暴風警報等の発令時には原則どおりの判断とします。

【学食関係】

（質問）　**学食のメニュー、料金、味について改善してほしい。**

（回答）　2016年度は学食メニューの充実を目的に「在学生考案の学食新メニュー開発プロジェクト」を立ち上げ、有志で集まった在学生の“学食特派員”が、寄せられた338件の意見を参考に新メニューを企画し既に販売されています。また、日頃から学生さんの意見をもとに可能な範囲で要望に沿えるよう食堂運営業者との話し合いを継続していきます。食堂・売店への要望について直接、食堂運営業者に声を届けたい時には、学生ホール内に設置されている“ご意見箱”を活用できますので保護者の方からも学生さんにお伝えください。

なお、価格については現状では値下げは難しいのでご理解とご協力をお願いします。

【奨学金関係】

（質問）　**奨学金をもっと増やしてほしい。**

（回答）　2017年度からK.M.奨学金（貸与型）が新設されました。大学3学部の2～4年次生と専門学校の2年次生を対象とし、月額5万円を貸与する奨学金です。これにより大学独自の奨学金は、貸与型が3つ（菅野・太田・長谷川奨学金、後援会同窓会奨学金、K.M.奨学金）、給付型が2つ（M.H.奨学金、難波千鳥奨学金）になりました。詳細は大学ホームページをご覧ください。

この報告書についてのご意見、お問い合わせは下記までお寄せください。
聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校　後援会
〒433-8558　　静岡県浜松市北区三方原町 3453
電話　053-439-1400　　FAX　053-439-1406